

令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立杜の里小学校

①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施）（%）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	19.5	52.9	14.9	12.6	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	65.5	25.3	8.0	1.1	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	26.4	54.0	11.5	8.0	0.0
問4	英語の授業がわかる。	39.1	41.4	14.9	4.6	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	20.7	42.5	26.4	10.3	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	21.8	43.7	27.6	6.9	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	83.9	14.9	1.1	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	77.0	19.5	3.4	0.0	0.0
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	46.0	26.4	18.4	8.0	1.1
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	20.7	33.3	29.9	14.9	1.1

②来年度に向けての指導改善の具体策（令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・既習表現を繰り返し指導しているが、時間がたつと忘れてしまう児童も多いため、ショートタイムも活用しながら、定期的に繰り返し指導していくようにする。
- ・英語に対して苦手意識をもつ児童がいるため、低学年、中学年のうちは苦手意識をもたないようにアクティビティの時間に重点を置いていくようにする。

③学校関係者評価

・「英語の勉強は大切だ」に対する肯定的意見の割合の合計は90.8%であるが、「英語の勉強が好きだ」に対する肯定的意見は72.4%にとどまっている。このことから、英語は大切だと思っているが好きではない子どもが18%いると考えられる。この差をなくすために、高学年で英語が好きだと思う子を増やす工夫を考えたらよいのではないか。

・「書くこと」より「読むこと」、「読むこと」より「話すこと・聞くこと」が苦手であるように読み取ることができる。これは英語学習が始まる前からの日本の英語教育の傾向といえる。「書くこと」<「読むこと」<「話すこと・聞くこと」を目指して、日常的に簡単な英語が使えるように一層努めてほしい。

・中学校1年生の意識調査結果は分からないので何とも言えないが、それと小学校6年生の結果とを比較してみると、小学校英語の成果や課題が見えてくるかもしれない。